

平成28年度 事業別予算概要

事業名	52100	畜産事業費	内線	2239	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 畜産課				款	5	農林水産業費		分野	1	産業・労働			
					項	2	畜産業費		基本施策	7	畜産業	H28実施計画額		
					目	1	畜産総務費		施策	1	活気ある畜産生産地づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	・高山市の畜産振興の向上	概要	事業の実施手法(手段)	・飛騨畜産振興会の活動支援、畜産委員への報酬等
	対象者数	229 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 畜産関係各種団体委員への謝礼 飛騨畜産振興会の負担金(飛騨3市1村及びJAなどで構成) 								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
	活動指標	畜産関係各種団体委員活動謝礼		件	目標値	33	33	33	33
					実績(見込)	33	33	33	
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	肉用牛飼育頭数		頭	目標値	3,900	4,000	3,500	3,500
					実績(見込)	3,304	3,304	3,303	
		算出根拠等			達成率(%)	85	83	94	
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						
				目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等			達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・畜産を取り巻く情勢的確な把握及び農業者への情報提供・指導
-----------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・畜産情勢を注視しながら事業を継続して実施する。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・畜産情勢を注視しながら事業を継続して実施する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・畜産委員、団体からの意見を踏まえ、効果的な事業実施に努める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,210	1,031	1,043	2,031
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	4,783	4,278	4,555	8,869
	受益者	畜産農家	(B)	253	241	229	229

5 予算編成(Action2)

事業内容	・畜産振興を図るための一般的な事務経費、飛騨畜産振興会活動支援負担金、畜産団体等への報酬	要求のポイント	・平成29年開催の第11回全国和牛能力共進会に向けた取り組み	事業実施の課題	・関係団体と協力連携を密にし情報収集に努め、畜産情勢を考慮しながら畜産振興を図る。
------	--	---------	--------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,043	2,031	988	1,025	1,025	・積算内容を精査 全国和牛能力共進会に向けた取組みに要する経費は、家畜改良推進事業費へ移行	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	30	30	0	30	30		
	その他	36	40	4	36	36		
	一般財源	977	1,961	984	959	959		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	52205	後継者等肉用牛貸付事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款			5	農林水産業費	分野		1	産業・労働				
担当課	農政部 畜産課	内線 2239	予算	項	2	畜産業費	基本施策	7	畜産業	H28実施計画額	実施計画事業	後継者等肉用牛貸付事業	31,000 千円
				目	2	畜産振興費		施策	4		担い手の育成・確保		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	肉用牛繁殖農家	どうしたいのか(意図)	・飛騨牛繁殖基盤の確保並びに拡大を行い畜産の安定経営を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・肉用繁殖雌牛の5年間無償貸付
	対象者数	173 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		・貸付頭数 42頭						
成果面	成果指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,900	4,000	3,500	3,500
		算出根拠等		実績(見込)	3,304	3,304	3,303	
				達成率(%)	85	83	94	
	成果指標	貸付実施頭数	頭	目標値	75	75	75	75
		算出根拠等		実績(見込)	70	42	75	
				達成率(%)	93	56	100	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・無利子での肉用牛導入費用の貸付だが、一括返済を不安に思う農家がある。分割での返済を受け付ける方策はないか。 ・高齢化や後継者不足で、畜産農家が減少している。 ・国の補助金が廃止になり、県の補助金と市の積立で基金を造成し対応している。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・繁殖農家の経営にとって有効な事業であるため内容等の見直しを視野に入れながら継続する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・繁殖農家の経営にとって有効な事業であるため内容等の見直しを視野に入れながら継続する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・畜産農家のニーズを踏まえ、増頭目標達成のための効果的な運用を図っていく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	29,000	18,000	31,000	31,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	150,259	104,046	174,157	179,191
	受益者 肉用牛繁殖農家	(B)	193	173	178	173

5 予算編成(Action2)

事業内容	肉用繁殖雌牛を買上、5年間無償貸付 ・肉用牛繁殖雌牛後継者等貸付 5百万(500千円×10頭) ・肉用繁殖雌牛高齢者貸付 26百万(400千円×65頭)	要求のポイント	飛騨牛繁殖基盤の確保並びに畜産経営の安定化	事業実施の課題	畜産農家のニーズを踏まえ、増頭目標達成のための効果的な運用を図る必要がある。
------	--	---------	-----------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	31,000	31,000	0	31,000	31,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	31,000	31,000	0	31,000	31,000		
	一般財源			0	0	0		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	52210	家畜防疫衛生事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計	政策	1 魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 畜産課			内線	2237		款	5 農林水産業費			
				項	2 畜産業費		基本施策	7 畜産業	H28実施計画額	1,400 千円	
				目	2 畜産振興費		施策	3 販路の拡大と供給の安定化			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	・家畜伝染病の発生予防に努め、低コストで高品質な畜産物の安全安心な生産・供給による畜産経営の向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・伝染病調査及び発生予防 ・法定家畜伝染病予防接種補助 ・家畜伝染病予防消毒薬備蓄及び配布
	対象者数	229 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 伝染病浸潤状況の調査 法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種補助 家畜伝染病対策マニュアルの作成及び周知 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	法定家畜伝染病予防接種(鶏ニューカッスル病)	羽	目標値	153,000	160,000	160,000	160,000
		実績(見込)	131,630	90,000	160,000			
		算出根拠等	達成率(%)	86	56	100		
	活動指標	県外導入豚特定疾病検査(オーエスキー病)	頭	目標値	130	130	30	50
		実績(見込)	10	35	25			
		算出根拠等	達成率(%)	8	27	83		
	活動指標	届出伝染病(牛白血病)抗体検査	頭	目標値	2,400	2,400	2,400	2,000
		実績(見込)	1,380	1,447	1,806			
		算出根拠等	達成率(%)	58	60	75		
	成果指標	法定伝染病発生数	件	目標値	0	0	0	0
		実績(見込)	0	0	0			
算出根拠等		達成率(%)						
成果指標	肉用牛飼養頭数	頭	目標値	3,900	4,000	3,500	3,500	
	実績(見込)	3,304	3,304	3,303				
	算出根拠等	達成率(%)	85	83	94			
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 自衛防疫と市全体(飛騨地域)での防疫措置とを明確にしコスト削減を図りつつ、効果的な防疫事業を行う必要性がある。 緊急時の防疫対策の備蓄等を検討する必要性あり。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 伝染病予防にかかる生産者の自衛防疫の徹底や普及啓発及び飛騨地域全体での統一した防疫措置の推進 届出伝染病(牛白血病)抗体検査の浸潤状況に基づき、陽性牛の淘汰等の指導措置 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、予防接種の推進、伝染病の浸潤調査を実施し防疫措置を講じていく。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,228	1,140	1,360	1,332
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 4,854	4,730	5,939	5,817
	受益者 畜産農家	(B) 253	241	229	229

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 家畜伝染病浸潤状況調査(放牧牛における牛白血病等) 法定伝染病予防補助(ニューカッスル病) 県外導入豚検査(オーエスキー病) 消毒薬及び消毒機器等の整備により防疫対策を図る 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 全国における動向の把握及び家畜の伝染病浸潤状況調査 消毒薬・消毒機器等の整備による防疫対策及び予防ワクチン接種 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 生産者への防疫意識の向上及び通常時の自衛防疫の必要性を図り防疫対策を推進し、防疫対策マニュアルの周知徹底と見直し等による改訂の必要性の検討 不測の事態(悪性伝染病)を想定した備蓄のあり方
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	1,360	1,332	△ 28	1,360	1,360	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,360	558	△ 802	1,360	1,360		
	一般財源		774	774	0	0		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	52215	家畜人工授精事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課			款	5	農林水産事業		分野	1	産業・労働			
内線	2239		項	2	畜産事業	基本施策	7	畜産業	H28実施計画額	25,300	千円	
予算			目	2	畜産振興費	施策	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖・酪農)	どうしたいのか(意図)	・優良子牛の生産・増頭により改良増殖を推進し、農家の経営安定を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・家畜改良、増頭の推進 ・和牛、乳牛の家畜人工授精 ・和牛、乳牛の受精卵移植・採卵
	対象者数	195 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・人工授精 3,188件 ・受精卵移植 134件 ・採卵 52件							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
	肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,900	4,000	4,000	3,500	
	算出根拠等		実績(見込)	3,304	3,303	3,303		
			達成率(%)	85	83	83		
	活動指標	家畜人工授精実施件数	件	目標値	3,000	3,000	3,000	3,500
	算出根拠等		実績(見込)	3,065	3,188	3,100		
			達成率(%)	102	106	103		
	活動指標	家畜受精卵移植実施件数	件	目標値	80	80	80	100
	算出根拠等		実績(見込)	27	134	90		
			達成率(%)	34	168	113		
活動指標	採卵実施件数	件	目標値	40	40	40	50	
算出根拠等		実績(見込)	14	52	35			
		達成率(%)	35	130	88			
補足	飼育頭数は微減傾向にあるが、人工授精・受精卵移植件数は横ばいである。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・生産者の収入増と「飛騨牛」ブランドの継続・躍進のためにも今後も業務を続けていく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・既存の委託先との協議を進め、直営地区の委託化を検討しながら、更なる飛騨牛のブランド化や受胎率の向上を図る。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大	・既存の委託先との協議を進め、直営地区の委託化を検討しながら、更なる飛騨牛のブランド化や受胎率の向上を図る。
	縮小 廃止検討	
	○ 維持・改善 拡大	・委託事務の拡大を図る必要がある。
	縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 23,675	24,424	25,300	24,782
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 98,646	112,553	129,744	127,087
	受益者 畜産農家(繁殖・酪農)	(B) 240	217	195	195

5 予算編成(Action2)

事業内容	・家畜人工授精業務	要求のポイント	・優良牛の増産・増頭のための農家支援、最新技術による生産者の収益向上対策	事業実施の課題	・広大な高山で「飛騨牛」ブランドを維持・発展させるためには、家畜人工授精業務委託の継続、最新技術を用いた受精卵移植の発展と活用が不可欠である。
------	-----------	---------	--------------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	25,300	24,782	△ 518	24,560	24,560	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	7,515	7,527	12	7,815	7,815		
一般財源	17,785	17,255	△ 530	16,745	16,745		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	52220	繁殖牛舎整備費助成事業	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 畜産課			内線	2239	款		5	農林水産業費	分野			
				項	2	畜産業費		基本施策	7	畜産業	H28実施計画額	15,000 千円	
				目	2	畜産振興費		施策	1	活気ある畜産生産地づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	・肉用繁殖雌牛飼育頭数3,500頭を始め、飼養頭数の増頭や自給飼料率の向上を目指すため、生産基盤の整備に対する助成を行い飛騨牛などのブランドの拡大を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・牛舎建設等を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人に対し補助する。
	対象者数	229 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・繁殖牛舎 1棟 堆肥舎 1棟							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	肉用牛飼育頭数	頭	目標値	3,900	4,000	3,500	3,500
				実績(見込)	3,304	3,304	3,303	
		算出根拠等		達成率(%)	85	83	94	
	活動指標	繁殖牛舎建設実績	棟	目標値	3	3	2	1
				実績(見込)	3	1	1	
		算出根拠等		達成率(%)	100	33	50	
	活動指標	牛舎等建設実績	棟	目標値	0	0	0	3
				実績(見込)	0	0	0	
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・制度の周知を図り、利用促進を行う必要がある。 ・また、計画段階で農地転用、建築確認等の手続きを確実にを行うよう指導する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・計画段階で農地転用、建築確認等の手続きを確実にを行うよう指導していく。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	積極的に事業のPRを行い、畜産農家の投資を軽減し、飼養頭数の増頭を促進する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	畜産農家のニーズを踏まえ、増頭目標など達成のための効果的な運用を図っていく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	15,000	7,500	15,000	18,975
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	5,000,000	7,500,000	15,000,000	3,795,000
	受益者	繁殖牛舎建設者	(B)	3	1	1

5 予算編成(Action2)

事業内容	牛舎等の建設を行う生産農家、農事組合法人などに対する助成 ・補助率1/4(上限10,000千円 県単補助) ・補助率1/2(上限5,000千円 繁殖牛舎 2,500千円 堆肥舎)	要求のポイント	・肉用繁殖雌牛飼育頭数3,500頭の目標達成に向けて、基盤となる牛舎建設等を推進	事業実施の課題	・県内で多数の要望が想定されるため、生産農家の増頭対策や自己資金の調達など採択要件に対する項目を事前に整理する必要がある。
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	15,000	18,975	3,975	12,000	12,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金		15,225	15,225	8,250	8,250		
その他			0				
一般財源	15,000	3,750	△ 11,250	3,750	3,750		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	52225	家畜改良推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 畜産課			内線	2239	款		5	農林水産業費	分野			
				項	2	畜産業費		基本施策	7	畜産業	H28実施計画額	3,000 千円	
				目	2	畜産振興費		施策	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	・家畜の改良度や改良の方向性の確認のため各種品評会を開催することにより、畜産物のブランド化及び、農家の意欲向上による増産を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・各種品評会の開催
	対象者数	229 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市畜産共進会経費等家畜改良事業 ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会負担金) 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	肉用牛繁殖雌牛飼育頭数	頭	目標値	3,900	4,000	3,500	3,500
				実績(見込)	3,304	3,304	3,303	
				達成率(%)	85	83	94	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・畜産を取り巻く情勢的確な把握及び農業者への情報提供・指導
-----------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・県・他市村・JA等関係機関と連携を密にし、各種品評会を実施し更なるブランド化を図る。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	県・他市村・JA等関係機関と連携を密にし、各種品評会を実施し更なるブランド化を図る。
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・全国的なブランド牛としての地位を確立するため、各種品評会の機会を捉え、市内外への積極的なPR・情報発信を図る必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	928	752	2,540	1,058
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,668	3,120	10,539	4,620
	受益者	畜産農家	(B)	253	241	241

5 予算編成(Action2)

事業内容	家畜の改良度や改良の方向性の確認のための各種共進会を開催	要求のポイント	品評会・共進会等の開催によるレベルアップ	事業実施の課題	品評会・共進会等の開催によりレベルアップを図る。
------	------------------------------	---------	----------------------	---------	--------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,540	1,058	△ 1,482	1,980	1,980	・積算内容を精査 ・全国和牛能力共進会に向けた取組みに要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	424	186	△ 238	424	424		
一般財源	2,116	872	△ 1,244	1,556	1,556		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	52230	牧場運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 畜産課			内線	2237	款		5	農林水産業費	分野			
				項	2	畜産業費		基本施策	7	畜産業	H28実施計画額	22,000 千円	
				目	2	畜産振興費		施策	1	活気ある畜産生産地づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖)	どうしたいのか(意図)	・夏山冬里方式の飼養管理として放牧推進を図り、他農業との複合経営の確立、飛騨牛の低コスト生産及び増産を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・放牧場の整備、充実を図るとともに、適正な牧場利用調整、推進を行う
	対象者数	173 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・放牧延べ頭数 47,346頭							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	放牧延べ頭数	頭	目標値	72,000	72,000	72,000	72,000
		実績(見込)		59,492	47,346	50,000		
		算出根拠等		達成率(%)	83	66	69	
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・放牧場施設及び草地の老朽化が目立っており、順次整備していく事により、放牧利用が推進され繁殖牛の増頭及び安定した子牛生産が見込まれ飛騨牛ブランドの躍進が期待される。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・指定管理者制度も含めた牧場施設・草地の維持管理方法の検討	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大	・牧場の管理方法と、牧場における迅速な家畜伝染病防疫体制の強化
	縮小 廃止検討	
二次評価	○維持・改善 拡大	・指定管理者制度の導入に向け検討していく必要がある。
	縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	18,526	18,792	21,850	23,378
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	95,990	108,624	126,301	135,133
	受益者	肉用牛繁殖農家	(B)	193	173	173

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市営牧場の維持・管理 ・放牧牛の健康管理及び防疫体制の強化 ・放牧施設及び草地の維持管理	要求のポイント	・放牧場内施設の老朽化による修繕 ・家畜伝染病対策等の防疫措置の向上	事業実施の課題	・防疫衛生対策として、家畜伝染病の抗体保因牛と陰性牛を隔離するため、入牧制限が必要となり、使用料に影響する可能性がある。 ・牧場草地の老朽化等により、放牧期間の短縮が懸念されるため、草地の再整備及び土壌診断等による草地改良が必要である。
------	---	---------	---------------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	21,850	23,378	1,528	22,350	22,350	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	10,800	8,323	△ 2,477	10,800	10,800		
	一般財源	11,050	15,055	4,005	11,550	11,550		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	52235	優良飛騨牛固定推進事業	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 畜産課			内線	2239	款		5	農林水産業費	分野			
				項	2	畜産業費		基本施策	7	畜産業	H28実施計画額	42,000	千円
				目	2	畜産振興費		施策	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、酪農)	どうしたいのか(意図)	・遺伝的に良質な牛肉を生産する能力の高い繁殖牛を保留又は導入する。 ・優良な乳用牛の保留又は導入による酪農経営の強化。 ・家畜共済対象外の事故に対し、組合員等で構成する互助制度の基金造成に助成する。	概要	事業の実施手法(手段)	・優良飛騨牛、優良乳用牛増頭に対する補助 ・高山市和牛改良組合が実施する家畜共済対象外の流死産等の事故(早期の流死産等)に対する互助のための基金造成に対して一部助成する。
	対象者数	195 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・優良雌牛保留対策 116頭 ・優良飛騨牛増頭推進 50頭 ・優良乳用牛保留・導入対策 30頭 ・互助事業加入頭数 3,213頭 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	肉用牛繁殖雌牛・乳用牛雌牛飼養頭数	頭	目標値	4,900	4,900	4,900	4,700
				実績(見込)	4,599	4,577	4,577	
	算出根拠等			達成率(%)	94	93	93	
	成果指標	優良雌牛保留・導入頭数	頭	目標値	230	230	230	230
				実績(見込)	192	196	203	
	算出根拠等			達成率(%)	83	85	88	
	成果指標	互助事業加入頭数	頭	目標値	3,600	3,600	3,500	3,500
				実績(見込)	3,284	3,213	3,500	
	算出根拠等			達成率(%)	91	89	100	
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・条件に当てはまる優秀な雌子牛の掘り起し、さらなる保留・導入の推進。 ・高齢化や後継者不足による畜産農家が毎年減少。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・条件に当てはまる優秀な雌子牛の掘り起し、さらなる保留・導入の推進。 ・飼料及び関連資材価格の高止まりによる畜産経営継続意欲の減退により高齢者及び小規模繁殖経営農家の廃業が進む中、優良雌牛の増頭により飛騨牛生産繁殖雌牛及び乳用牛の経営基盤を強化し、畜産の経営安定を図る。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・飼料及び関連資材価格の高止まりによる畜産経営継続意欲の減退により高齢者及び小規模繁殖経営農家の廃業が進む中、優良雌牛の増頭により飛騨牛生産繁殖雌牛及び乳用牛の経営基盤を強化し、畜産の経営安定を図る。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
○拡大		
○縮小		
○廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	32,446	33,194	42,070	37,365
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	150,912	180,402	215,744	191,615
	受益者	肉用牛繁殖農家・酪農家	(B)	215	184	195

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高育種優良雌牛より生産された優良雌子牛を保留又は導入する経費に対する助成 ・乳用牛経営基盤の強化のための優良な乳用牛を保留又は導入する経費に対する助成 ・飛騨牛生産事故見舞金造成に要する経費 1,000円×3,500頭×1/4(畜産農家1/2、JA1/4、市1/4)	要求のポイント	・優良雌牛の保留又は導入による経営基盤の強化 ・組合員相互の連携強化と意欲的な「飛騨牛」改良生産強化	事業実施の課題	・優良な肉用牛・乳用牛の導入保留 ・組合員相互の連携強化と意欲的な「飛騨牛」改良生産強化を図る。
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	42,070	37,365	△ 4,705	42,070	42,070	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	17,550	15,210	△ 2,340	17,550	17,550		
一般財源	24,520	22,155	△ 2,365	24,520	24,520		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	52245	飛騨食肉センター助成事業費	内線	予算	会計	1	一般会計	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 畜産課				2239	款	5		農林水産業費	分野			
					項	2	畜産業費	基本施策	7	畜産業	H28実施計画額	68,200 千円	
					目	2	畜産振興費	施策	3	販路の拡大と供給の安定化			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	・畜産の振興及び安全・安心な食肉の安定供給	概要	事業の実施手法(手段)	・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
	対象者数	229 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成 								
成果面	成果指標	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		肥育牛の飼育頭数		頭	目標値	6,500	6,500	6,500	6,300
		実績(見込)			6,105	6,105	5,966		
		算出根拠等			達成率(%)	94	94	92	
	成果指標	肉豚出荷頭数		頭	目標値	6,200	6,200	6,000	6,050
		実績(見込)			5,779	5,779	6,095		
		算出根拠等			達成率(%)	93	93	102	
					目標値				
	成果面				実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		算出根拠等			達成率(%)				
補足				実績(見込)					
	算出根拠等			達成率(%)					
				目標値					
	算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・食肉センターに対し、高レベルの食肉衛生対策を維持するとともに運営の効率化やコスト削減を求めていく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各種助成事業の継続実施 ・食肉センター運営委員会への出席
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	65,632	67,011	68,215	101,771
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	259,415	278,054	297,882	444,415
	受益者	畜産農家	(B)	253	241	229	229

5 予算編成(Action2)

事業内容	・食肉センター建設事業(債務負担)及び運営費、肉豚出荷や危険部位焼却に対する助成	要求のポイント	・飛騨牛の振興、食肉の安定供給	事業実施の課題	・食肉の安全安心な供給施設として維持管理をしつつ、運営の効率化とコスト削減等を検討する必要がある。
------	--	---------	-----------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		68,215	101,771	33,556	68,305	68,305	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	68,215	101,771	33,556	68,305	68,305		